

# サ・メッセージ

あたたかな心のメッセージ

San Message

豊田西病院 広報誌

2005.6.30 Vol.20

20

地域の中でトータルな心のケアと社会復帰を支える



## これからの急性期治療病棟

院長 坪井 重博

### 短期入院から外来支援へ

病棟に引き続き行われている外来棟の改修工事は、今年8月の完成予定です。平成16年2月に48床でスタートした急性期治療病棟も、今年4月から60床に増床し、入院・外来共に充実した精神科医療の体制が整います。

新規入院の方も3ヶ月以内にほとんどが退院され、退院後必要な方はデイ・ケア、デイ・ナイト・ケア、ナイト・ケア、訪問看護など経験豊かな職員による外来支援を受けていらっしゃいます。

短期入院が目指すものの一つに、患者様の社会生活能力の低下を防ぐことがあります。

入院治療計画に基づき、精神療法を始め、選び抜かれた最小限の種類と使用量の薬物療法、あるいは

作業療法を併用し、社会復帰へとつなぎます。

### クリティカル・パスの活用

この入院治療計画の充実の鍵を握るのがクリティカル・パスです。クリティカル・パスとは、精神科医をはじめ、看護師、薬剤師、作業療法士、臨床心理士、臨床検査技師、放射線技師、栄養士、精神保健福祉士、事務職員など各々の分野の専門職員が一丸となって、主治医の治療方針のもとに、患者様の症状や障害を把握し、具体的な治療計画を立ててゆくものです。

治療には、ご家族様にも参加いただき、ご意見を伺いながら、「病気」

というものへのご理解を深めていただき、患者様にとってよりよい方向を見い出して行きます。つまり患者様と私達職員とが、その目標を共有しながら、計画の実行に向けて努力をしようというものです。

このクリティカル・パスを当院では、クリティカル・ナビゲーションという名称で入院患者様にご利用頂き、将来、全ての患者様への導入を目指したいと思っております。

入院計画を立てるということは、すなわち退院計画を立てることです。このことを忘れずに精神科の入院治療の充実を図ってまいります。

### クリティカル・ナビゲーションを旅にたとえると

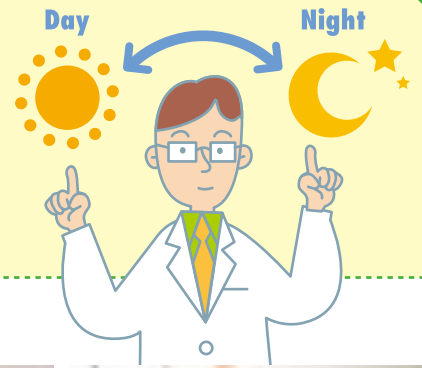
人が知らない場所に旅をする場合、最低限何が必要か考えてみてください。まず第一に地図、次にコンパス、三番目に道ガイドではないでしょうか？

次に、旅を病気になるいはケガで入院すること置き換えてみてください。コンパスに換わるものは医師の診断あるいは治療方針であり、道ガイドは看護師などに置き換わるのではないのでしょうか。では地図は何に置き換わるのでしょうか？それが「クリティカル・ナビゲーション」なのです。



# 「デイ・ナイト・ケア」のご紹介

当院では社会復帰と自立を援助するための、さまざまな支援体制を整えていますが、その中でも、今回は特に「デイ・ナイト・ケア」についてご紹介します。



## 朝から 夕食後までの通所ケア

デイ・ナイト・ケアは、平成16年12月1日より始めました。現在は、毎日平均して10数名の方が通所されています。

デイ・ナイト・ケアの役割は、朝から夕方までの規則正しい生活を送り、社会復帰や自立を援助するための場として、社会生活の基礎を身につけることです。

デイ・ケアとの違いの一つは、活動時間が9時～19時の10時間になっている事です。デイ・ナイト・ケアでは食事も患者様、職員と共に摂っております。

プログラムは、個人プログラムとして、革細工・プラモデル製作・陶芸・手芸・音楽などの活動があり、グループ活動・SST(生活技能訓練)・スポーツ等の集団プログラムもあります。それぞれの治療目的に沿ったプログラムが取り組まれています。

デイ・ナイト・ケアは、プログラム形式をとっており、月1回のプログラムミーティ



ングで患者様と職員がいっしょに企画し、活動しています。

特徴のあるプログラムの内容を具体的にご紹介しますと、定期的で開催している「女性プログラム」では、美容に関する事や、手軽にできるお菓子作りなどを行っています。また、管理栄養士が常勤していますので、月1度の「栄養指導プログラム」の他に、個別栄養相談も実施してい

ます。この相談では、手軽にできるバランスの良い食事の作り方や糖尿病など、合併症の方への食事指導を行っています。

スタッフは、医師・作業療法士・管理栄養士・看護師・精神保健福祉士など多職種で構成されています。

デイ・ナイト・ケアに関心をお持ちの方は、お気軽に外来主治医・相談室へご相談ください。

## 女性特有の心の不調について

医師 小出 将則



男女平等の世の中で男性にはできない一大事が、出産です。その担い手となる10歳代から50歳代までの女性について回る「月経」が、女性の心と体を女性らしくするとともに、心の不調の元にもなります。これを年齢に沿って見ていきましょう。

### 思春期

10代に多いのが摂食障害(拒食症と過食症)です。かかりやすさは、なんと男の10倍。拒食症では月経が止まり、低体重で命の危険が迫ることもあります。おとを伴うものはより深刻です。細身体型賛美の風潮、親子関係、遺伝的体質などが関係するとみられますが、原因は治療法と同様一つではありません。心身両面へのアプローチが必要です。

### 周産期

20～30代は結婚、出産の中心世代です。最近は両方とも高齢化した分、月経回数が増え、「生理前のいらいら」などで悩む人が増加しています。月経前症候群(PMS)といい、ひどい症状のときは治療の対象となります。また出産後はマタニティブルー、産後うつ病などが要注意です。症状の基本はうつ病と同じですが、育児という負担がかかるので、治療には夫や家族など周囲の理解と協力が欠かせません。

### 更年期

40～50代は生殖年齢の終点を迎える時期で、閉経の前後各5年をこう呼びます。のぼせや冷や汗といった自律神経症状に始まり、不眠、抑うつなどうつ病と見まがうのが更年期障害です。うつ病との合併も多く、その場合は婦人科でのホルモン療法とともに精神科・心療内科での治療が望まれます。

### 月経前症候群(PMS)

排卵後、月経までの黄体期に生じる不調。

症状は個人差があるが、むくみや乳房のほり、あちこちの痛み、便秘・下痢などの身体症状といらいら、気分の移りやすさ、抑うつなどの精神症状に大別される。

病状が重いと被害妄想が出ることもある。他の病気(うつ病や甲状腺疾患など)との鑑別が必要で、専門医受診が望ましい。

## 社会見学で 自信と意欲を深めた一日

—キューピー株式会社拳母工場見学(2月25日)—

2月25日キューピー(株)拳母工場へ、見学に出かけました。日頃よく使用するマヨネーズやドレッシングが作られているとあって、皆さん興味深く熱心に見学されました。

従業員の方と同じトイレを使わせていただいた時、使用後手を洗ってから乾かし、アルコール消毒をしないとドアが開かないというシステムには、全員で目を真ん丸くして驚きました。衛生面での管理がしっかりされているなあと、



おもしろいほど次から次へと製造されるマヨネーズ、ドレッシングのラインに見とれてしまいました。

食品工場ならではの厳しさを痛感しました。

工場内のラインでは、いつも家庭で使うマヨネーズが、次から次に生産されます。独自に開発された割卵機は、1分間に600個もの卵を割り、自動的に卵黄だけを取り出すスピードにびっくり。それに関する従業員の会社独自の資格制度もあるとお聞きし、再度びっくりでした。あるメンバーさんは、働く厳しさを目の当たりにし「とても自分では無理だ」と溜息。また、あるメンバー

さんは「ここでバイトしたい」と意欲満々でした。

見学後の質疑応答では、マヨネーズの事、機械化の事、衛生面の事など、積極的に質問され、自ら質問できたことへの喜びと自信が生まれるとともに、社会復帰への新たな意欲へと繋がりました。この体験を現在の作業意欲に結び付け、今後の就労に生かしていければと思います。

## 80分並んで、感動のアトラクション —万博内覧会(3月19日)—

社会復帰施設入所者を対象に、「愛・地球博」の内覧会に招待していただき、福祉ホームに入居されているメンバーとスタッフで、朝から夕刻まで万博を満喫してきました。

3月19日(土)はよく晴れわたり、雲一つない青空が広がるなか、電車とリニモを乗り継いで万博会場へ。初めて乗るリニモにも大感激でした。

混雑も何のその、入口での荷物チェックを受け、金属探知機ゲートをくぐって、モリゾーとキッコロに出迎えられイザ入場! 大きく広い会場を見渡すと、企業パビリオンは長蛇の列、どこもかしこも大勢の人で大賑わい、「すごいすごい」の連発でした。

どこへ行ったらいいの? 何から見ていい

のか? と歩き出した時、メンバーから愛知県民だから名古屋市のパビリオン「大地の塔」に入ろう!との声が出て、全員賛同。80分待ちの状態でしたが、せっかくだからと並びました。待ちに待ったアトラクションでは、光が奏でる万華鏡の美に心を奪われ、ゆったりとした気持ちになりました。その後、カナダ・サウジアラビア等の外国館を回り、ほんの少しですが、外国の空気に触れることができました。

朝から夕刻まで歩き回り、見て、触れて、聞いて…五感で楽しんだ一日でした。初めての体験や、たくさん感動を味わい、思い出深い楽しい一日となりました。帰る頃には、疲れも感じ始め、その夜はぐっすりと

### サン・ドーム

床についたことは言うまでもありません。

今も万博が開催されています。テレビで万博の話が出ると、皆で感動を思い出し、話に花が咲きます。皆さんも出掛けてみませんか? きっと、楽しい感動が待っていますよ。



どこへ行っても長蛇の列でしたが、パビリオンの魅力に引き込まれるように、人気パビリオンを目指しました。

(サン・ドーム/サン・ライズ/サン・クラブ)

## 花いっぱい、宴も盛り上がり —春の1泊旅行(3月5日~6日)—

毎年恒例となりました、サン・ヴィレッジ春の1泊旅行。3月5日(土)・6日(日)、花のつぼみが開き始める初春、「花フェスタ2005ぎふ」へ出掛けてきました。

花フェスタの会場に入ると、ひと足早い春を感じさせてくれる花たちが出迎えてくれます。まるで美しい花の交響曲を奏でるように繰り広げられる花飾り、花の都…そんな花たちの、香りに誘われて、広い園内を散策しました。花のミュージアムでは、話題の青いバラ、「ブルーヘブン」を觀賞し、バラの香で充満した館内で、バラのソフトクリームや特産品に舌鼓と、花いっぱいの楽しい一日を過ごしました。

今年は病棟でお世話になった看護師さんが

多数参加して下さったこともあり、夜の宴も大盛り上がりでした。メンバーのみによる宴の進行を見て看護師さんたちは感動され、これからの支援に力が入ると話していました。

季節の美味しい料理はもちろんのこと、カラオケ大会や、〇×クイズ、2次会でのビンゴゲーム、皆と入った大浴場、寝つかれず、皆に気遣いながらゴソゴソした夜中の行動などなど、どれもこれも楽しい思い出となり、明日の活力へと、繋がってくれたと思います。

来年はどんな楽しみが待っていることでしょうか? 今から期待しています。



時期的に少し早すぎて、花のトンネルにはまだ遠いという感じでしたが、バラの甘い香りが、素敵な空間を演出していました。

# ! information

## 豊田西病院インフォメーション

常に質の高い精神科医療の提供を目指して日々変化する豊田西病院。

このコーナーでは、そんな豊田西病院の最新情報をお届けしていきます。

# 外 来 担 当 医 の ご 紹 介

曜 日	第1診察	第2診察	第3診察	第4診察
月 曜	大橋 直哉	森 省二	坪井 弘次	坪井 重博
火 曜	小野 宏	小出 将則	品川 好広	坪井 重博
水 曜	坪井 重博	豊田 かおり	持田 圭仁	小出 将則
木 曜	小野 宏	森 省二	嶋 宏昭	大橋 直哉
金 曜	豊田 かおり	大橋 直哉	森 美緒	嶋 宏昭
土 曜	坪井 重博	嶋 宏昭	小出 将則	大橋直哉/品川好広
日曜・祝日	休 診			

受付時間
午前8時45分 } 11時45分
診療時間
午前9時00分 } 12時00分

◆第4診察の外来診療は、月～金曜、朝一番の外来診療の応援体制として実施しております。したがって朝9:30までの診療となっておりますのでご了承ください。 平成17年5月30日～

### スタッフからのお知らせ!

## 個人情報保護法施行における取組み

今年の4月1日より「個人情報保護法」が施行されました。当院も、患者様の大切な個人情報を取り扱う事業者として、院内研修等を通じて、漏洩事故の防止策・安全管理措置の充実を図っています。また、当院では、法施行前(平成15年6月16日～)より患者様のプライバシーへの配慮という面から、外来受付において番号案内、色別番号によるご案内をさせていただいております。医療安全確保とプライバシーへの配慮、そして何よりも患者様の大切な個人情報をお預かりするという面について、今後も病院をあげて安心、安全な医療提供ができますよう取り組みます。

## 精神科臨床研修協力 病院としてのスタート

豊田西病院は、臨床研修病院である、公立陶生病院(瀬戸市)と協力、連携を図り、精神科実地研修の医療機関となっています。これを一つの契機として「明日の精神科医療」を目指す仲間を増やすべく、院内の施設、また、院内体制の見直しも図り、組織的に取り組んでいきます。

## 西方見聞録 イベント●トピックス 2005年2月～2005年5月

2月18日

### 保見中学校生徒による職場体験

保見中学校2年生の2名が、総合学習の一環として、通所授産施設であるサン・ワークショップで一日体験実習を行いました。洗濯作業など、いっしょに汗を流して行う実習は、メンバー、スタッフにとっても貴重な機会となりました。



4月8日

### 花見会(愛知県緑化センター)

毎年恒例の花見会は、桜とユキヤナギが満開の緑化センターに出かけました。車中は和やかな雰囲気にもまれ、楽しい会話が弾みました。咲き誇る花を見ながら味わう花見弁当は、いつもとは一味違ったおいしさでした。



5月27日・31日

### 春の行楽(愛知牧場)

デイ・ケア、デイ・ナイト・ケアでは、春と秋に行楽プログラムを行っています。今回は、5月27日にデイ・ケア、5月31日にデイ・ナイト・ケアが、初夏の緑眩しい愛知牧場で、自然とふれあいながら、自然の空気を満喫しました。往路約5キロの道のりを汗だくになりながら、歩きました! 着いてからの牛乳ソフトクリームのおいしかったこと!メンバー・スタッフとともに、いい汗をかきました。



## 増改築ニュース! 8月に外来棟完成へ

外来棟の増改築工事も順調に進み、この8月末には完成の運びとなります。工事期間中はたいへんご迷惑をおかけいたしました。

完成後は、リニューアルした外来棟にて、スタッフ一丸となってよりよいサービス向上に努めます。



## 編集 後記

サン・メッセージは、情報の発信や当院の新しい姿、これからの取組みなどをできるだけ多く伝えていきたいと思っております。双方の誌面づくりを目指しておりますので、お気づきの点や、感想、質問などをどしどしお寄せください。(K)

豊田西病院 広報誌

# サン・メッセージ

San Message

平成17年6月30日発行 第20号

医療法人 研精会



# 豊田西病院

〒470-0344 愛知県豊田市保見町横山100番地  
TEL. 0565-48-8331 FAX. 0565-48-8318  
http://www.toyotawest.or.jp/



日本医療機能評価機構